

▼チャレンジの舞台へ踏み出そう!

# 海外農業研修

令和3年度ガイドブック



公益社団法人 国際農業者交流協会  
The Japan Agricultural Exchange Council



# 農業研修生海外派遣事業の沿革



## ○ 社団法人 国際農友会

**1952** 年

(昭和27年)  
■ アメリカ派遣事業開始

**1953** 年

(昭和28年)  
■ デンマーク派遣事業開始  
■ ブラジル派遣事業開始  
1964年度まで派遣

**1957** 年

(昭和32年)  
■ スイス派遣事業開始  
■ ドイツ派遣事業開始  
■ カナダ派遣事業開始  
1990年度まで派遣

**1956** 年

(昭和31年)  
■ カリフォルニア農業研修生派遣制度(3年制)開始  
1966年度まで派遣

## ○ 社団法人 農業労務者派米協議会

**1964** 年

(昭和39年)  
■ オランダ派遣事業開始  
■ ニュージーランド派遣事業開始  
1990年度まで派遣

## ○ 社団法人 農業研修生派米協会

**1965** 年

(昭和40年)  
■ カリフォルニア農業研修生派遣制度に代わり  
米本土派遣2年制農業研修制度が創設

**1966** 年

(昭和41年)  
■ 米国派遣2年制制度開始

**1972** 年

(昭和47年)  
■ アメリカ ハワイ州派遣事業開始

**1965** 年

(昭和40年)  
■ 日米貿易・経済合同閣僚会議開催  
(カリフォルニア農業研修生派遣制度の廃止と2年制農業研修制度の創設について協議)



1988年

(昭和63年)

■ 社団法人国際農友会と社団法人農業研修生派米協会がそれぞれの実施事業を充実強化するために解散統合し、新たに社団法人国際農業者交流協会が設立され、それまで両団体で行われていた派遣事業を継続実施

2018年

(平成30年)

■ オーストラリア派遣事業開始

2012年

(平成24年)

■ 内閣府から公益社団法人の認可を受け  
名称を公益社団法人 国際農業者交流協会と改める

2006年

(平成18年)

■ 米国派遣2年制を  
1年半のプログラムに改良



## index

ご挨拶	03	あなたにぴったりのコースは?	13
行こう! 海外農業研修	04	アグトレ・オンライン	14
申込み方法	05	農業研修生海外派遣事業実施要領	15
アメリカでの農業研修	07	帰国後について	26
オーストラリアでの農業研修	08	活用しよう、色々なサポート	28
ヨーロッパ・その他の国々での農業研修	09	お問い合わせ先	30
アプレンティスシップ(国内実習)	11		

# ご挨拶



公益社団法人 国際農業者交流協会  
会 長 野中 和雄

公益社団法人国際農業者交流協会は、英語名を The Japan Agricultural Exchange Council (略称 JAEC) と表記し、海外において先進農業技術や経営などを学ぶプログラムを提供する専門機関として昭和 63 年に設立されました。前身団体からの累積では、これまでに 14,800 名を超える日本青年が海を渡り、言葉の壁や文化、生活環境の違いを乗り越えて先進農業を学ぶことができました。海外で研鑽を重ねた方々は、培った知識と経験を生かし、我が国における中核農業者として、更には農業関連諸企業や国際協力分野において活躍されています。

本会では、上記に加え ASEAN 諸国や欧州諸国からの農業研修生の受入事業、国際化に対応するための課題について勉強を行う研究会やセミナーの実施など、多岐にわたる事業を行っています。

これらの事業は、欧豪米及びアジア諸国の政府機関、関係団体との長年に亘る協力と信頼関係によって実現されているもので、その質と研修効果の高さは国内外から高く評価されています。

一方で、昨年より世界的な流行となっている新型コロナウイルス感染症の社会的な影響により、人と人との接触を避け、また国際的な交流が抑制されている現状がありますが、我が国農業が抱える後継者不足、耕作放棄地の増加、食料自給率の低下などの課題解決に向けたたゆまぬ努力が必要です。オンラインでの授業やインターネットを使った学びが推進される新しい時代を迎えていますが、実践的に、技術力、経営力、国際感覚などのグローバルスタンダードを身につけることは、誠に得難い貴重な体験と言えます。

異国での生活は、現地の文化や習慣を理解し、外国語を習得するだけでなく、世界の中の日本がどのような役割を果たし、どう思われているのかを直接確かめる良い機会となるでしょう。さらに日本代表として外国の人々と交流を持つことで、郷土愛、家族への感謝、そして、自分を見つめ直すことにも繋がり、優れた人間性を醸成するものと確信します。

これからの時代を切り開く実力を身に付けるべく、夢に向かい挑戦してください。

# 行こう！海外農業研修

あなたにとって農業とはどのようなものでしょうか？家族が農業を営む人にとって、それはとても身近な職業かもしれません。また、農産物や畜産物を購入する時、農家の顔を思い浮かべる人もいるでしょう。旅行先で車窓から見える田園風景に感激したことだってあると思います。農業は、暮らしを支え、地域を作る国の根幹となる仕事です。しかし、現在日本の農業者は減少し、高齢化が進んでいます。なぜ、農業をしたいという若者が減ってしまうのでしょうか？

実際には、多くの若者が農業に興味を示し、農業に対するイメージは概ね良いものとなってきているようです。しかし、どのように農業の世界に踏み出したらいいのか、わからない人がたくさんいると聞きます。

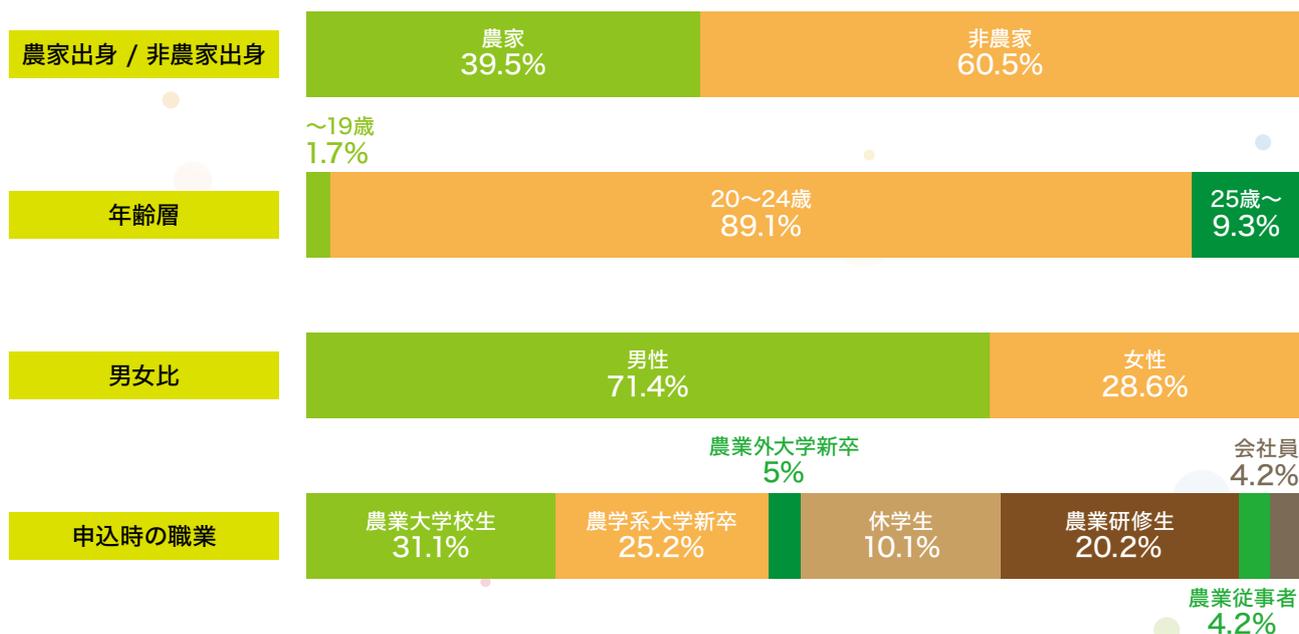
農業は自然や環境と向き合い、現場の状況に合わせて様々なことに対応できなくてはなりません。また、動物も植物も、人間の思い通りの成長をしたり、

健康状態が常に保たれるわけではありません。色々なトラブルに臨機応変に対応し、乗り越える、それが農業経営だと言えます。こういった知識や技術、いわゆる【農業力】は、どのようにしたら身に付けることができるのでしょうか？

海外農業研修の魅力は、外国の農家で実際に作業しながら学ぶ、実務研修ができることです。ビジネスとして農業に取り組むことで、必要な農業力がしっかり身に付いていきます。さらに、今は農業者にも国際感覚・コミュニケーション能力、IoT知識・技術などが求められているし、国際基準（GAPや有機農業、動物福祉など）も無視できません。あまりにたくさんの方がありますが、それをじっくり見聞きする時間があると良いと思いませんか？

海外農業研修は、一見長い修行の旅に見えますが、目的を達成するための近道です。“急がば回れ”とか、“若いうちの苦勞を買ってでもしろ”と言いますが、海外農業研修はまさにそれにあたるものと言えます。

## 海外農業研修への参加者(2018年～2020年度の3年間119名の内訳)



# 海外農業研修申込み方法

## 1. 申込み

### ①『プレントリー』をする

- 本会のホームページにアクセスしてください。インターネット上で「アグトレ」または「JAEC」と検索するとアクセスできます。
- 本会のホームページの応募ページからプレントリーボタンをクリックし、申込フォームを開いてください。
- 必要事項を入力し送信してください。すぐにご指定のメールアドレスに返信があります。
- その後、ご登録いただいたEメールアドレスに申込書類をお送りします。

**プレントリー期間**  
**募集：2021年4月1日（木）～2021年9月30日（木）**

※健康診断に時間がかかったり、推薦応募の締切りに間に合わなくなる恐れがあるので、プレントリーは余裕をもって行ってください。

### ②応募する

応募方法は「推薦応募」または「一般応募」があります。プレントリー後に送られてくる申込書式に必要事項を記入し、次の手順で送付をしてください。

#### ★推薦応募の場合

出身または就農予定の都道府県知事、本会が認める団体長から推薦をもらい応募する方法です。応募書類の提出先は、都道府県の担当課又は推薦団体窓口となります（P.30 参照）。推薦を得るにあたって、書類審査、面接、試験等が実施される場合があります。

#### < 海外農業研修推薦資格を持つ認定団体 >

- |              |                |
|--------------|----------------|
| ・北里大学獣医学部    | ・八ヶ岳中央農業実践大学校  |
| ・東京農業大学      | ・公益財団法人北海道農業公社 |
| ・酪農学園大学      | ・東京国際農業者協会     |
| ・拓殖大学北海道短期大学 | ・京都府国際農業者交流協会  |
| ・帯広畜産大学      | ・大阪府国際農業交流協会   |
| ・日本農業経営大学校   | ・福岡県国際農業者交流協会  |

推薦応募は各都道府県、推薦団体ごとに応募締切日を設けています。推薦の締切りは応募の締切日より早いので、お早めに県庁担当課及び団体窓口（P.30 参照）にお問い合わせください。

#### ★一般応募の場合

海外農業研修参加希望者が直接本会に応募する方法です。申込書類を本会に送付してください。

申込締切（本会必着日）：2021年10月4日（月）

応募が完了すると、10月上旬に選考・面談のご案内をメールでお送りします。

★欧州及びその他の国々について

欧州やその他の国々での研修を希望する方は、プレエントリーの後、以下の手続きを行います。

- プレエントリーをして、メールに届く申込書(様式1)と健康診断(様式2)を協会に送付してください。後日面談の日時を取り決めます。
- 面談は、基本的にオンラインで行います。その結果をもとに、研修先国の受入機関と協議し、研修実施の可否を決定します。
- 研修実施の目途が立ちましたら、海外農業研修手配依頼書(様式4)を本会に提出します。また、それに従い研修経費を支払います。

### ③選考(アメリカ・オーストラリア)

選考会や面談は全てオンラインにて実施します。

- 選考日 10月15日(金)または10月16日(土)  
いずれか1日の選考会(面談)に参加します。選考の内容は書類審査及び面談です。簡単な英会話、農業の知識の確認等があります。
- 選考費用  
推薦応募 5,000円  
一般応募 8,000円  
予め銀行振込していただきます。※実施要領のページを参照ください。
- 合否通知は、10月29日(金)に発送予定です。

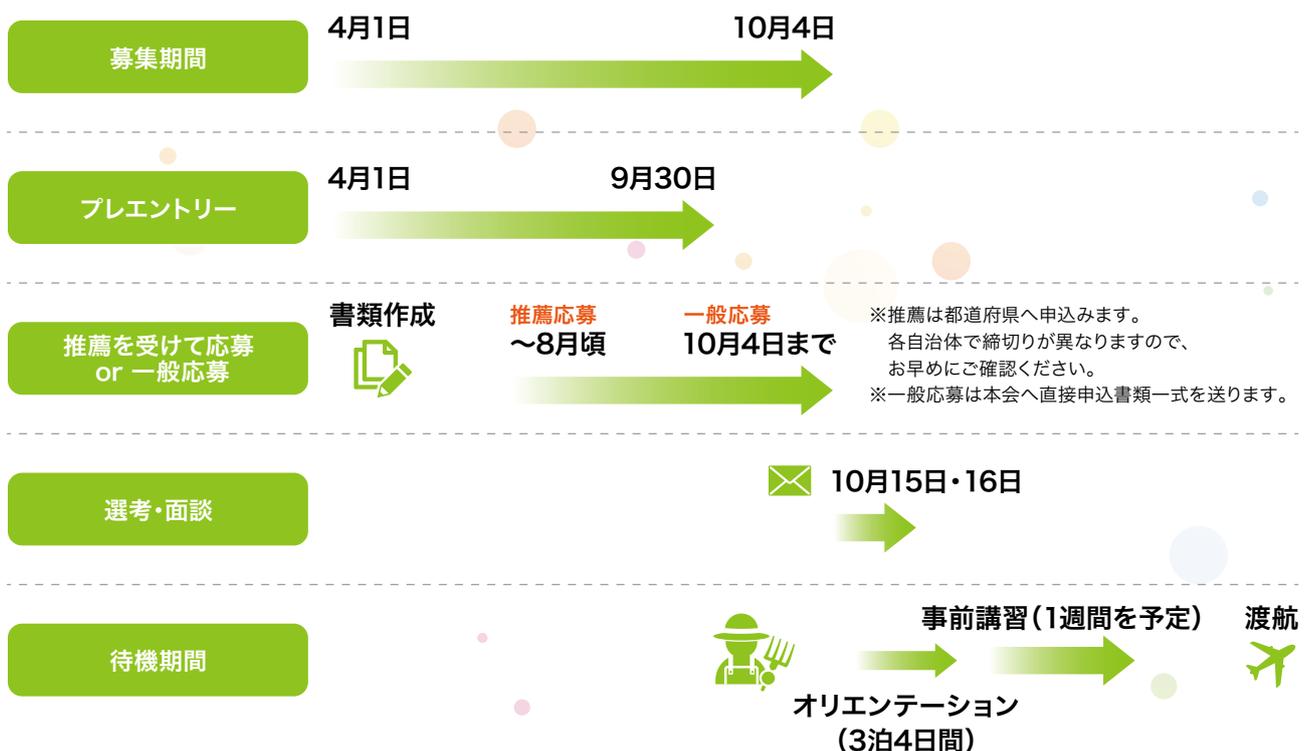
### ④オリエンテーションと事前講習

合否通知と共に、オリエンテーションと事前講習の案内をお送りします。選考合格者は、コースごとのオリエンテーションまたは事前講習に必ず参加してください。

まずはJAECのホームページにアクセスしてください。

アグトレ

検索



# アメリカでの農業研修

アメリカコースは、2つの州立大学での授業（座学）と、農場での実習（実務）を兼ね備えたプログラムです。座学と実務研修が交互に組み込まれているため、サンドイッチ教育とも呼ばれますが、バランスよく農業を学ぶことができるお勧めのプログラムです！

## 1年半にわたる農業の学び

### 渡航 ～研修開始～

アメリカコースに参加する研修生はグループで東京からワシントン州シアトルに向けて渡航します。到着後、アメリカの代表的な風景である、大都市、山脈、砂漠、そして広大な農地を車窓から眺めながら、目的地である Big Bend Community College (BBCC) へ陸路で移動します。



### 基礎学習 約2か月（3月下旬～5月下旬）

～農場での実習前にアメリカでの生活に慣れる2か月～ワシントン州モーゼスレイクにある BBCC にて、英語、スペイン語の学習、農業授業、トラクターなどの農業機械操作、農業視察を行う。



BBCCのキャンパス。語学の基礎と米国農業の一般知識を身に付け、アメリカでの生活に慣れていく。



日本人農業研修生に合わせたベテラン講師による英語レッスン。



アメリカ北西部最大の都市シアトル。基礎学習中に訪問する機会もある。

### 農場実習 約13か月（5月下旬～翌年7月上旬） 【農場が用意する宿舎での生活】

～アメリカ農業を実務研修を通して学ぶ13か月～研修の根幹となる農場での実習。専攻業種ごとに農場での実習となる。農場の宿舎に滞在し、実習手当の中から現地での生活をやりくりするのもこの研修の醍醐味。



研修農場は千差万別！



肉牛専攻の研修生の中には、カウボーイに挑戦する研修生も。



サンフランシスコのファーマーズ・マーケットにて、野菜を販売する研修生。お客さんと交流する。

### 専門学習 約2か月（7月上旬～8月下旬） 【ホームステイ】

～アメリカ農業研修の成果を生かし帰国後を見据える2か月～農学部を有する州立大学（カリフォルニア大学デービス校を予定）にて、業種ごとの専門知識を学ぶ。また、帰国後の農業ビジネスプランを作成し英語で発表を行う。アメリカ農業研修で得た知識・経験を総括する。



アメリカ流プレゼンテーションを学ぶ機会も。



カリフォルニア州の先進農家を訪問。フィールドトリップで訪ねる生産者が先生となる。



デービス周辺は有機農業も盛ん。農場実習で経験したことをより深く学ぶ。

### 最終研修旅行 約10日（8月下旬～9月中旬）

～自分でアレンジする研修旅行～自らが旅行プランを考えてアメリカを学ぶ計画を立てる研修旅行期間。自由の中にも責任があり、これまで学んだ力、語学力が試される。



### 帰国（9月中旬）

～アメリカでの経験を生かして～シアトルに集合し修了式を行い、帰国する。郷里に戻り、農業人材として活躍する。



～海外農業研修生 帰国報告会～帰国後、東京での報告会を行った後に解散となる。

# オーストラリアでの農業研修

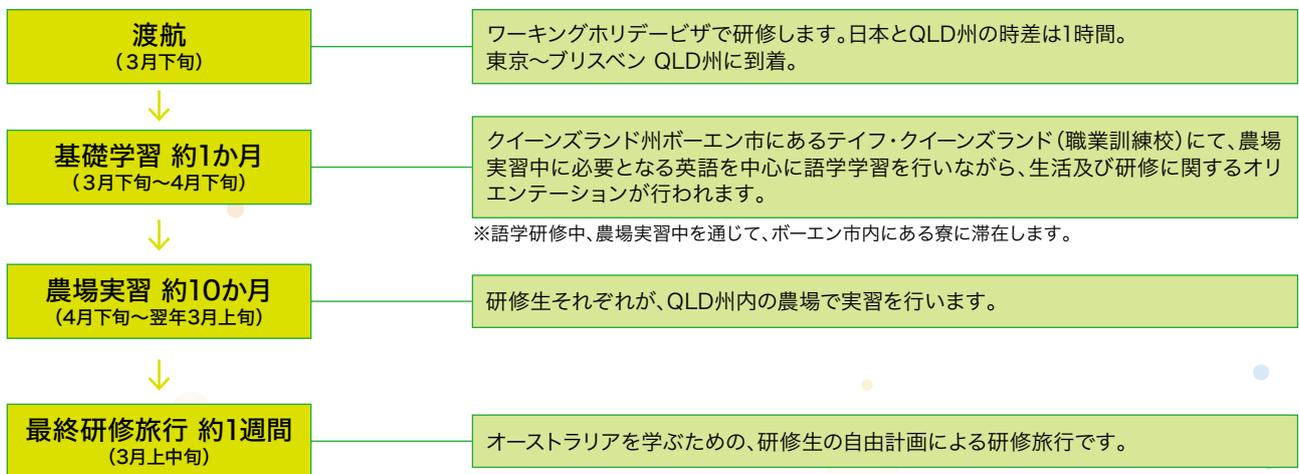
## 南半球での農業研修 1 年

オーストラリア北東部クイーンズランド州（QLD 州）政府と連携し、QLD 州での農業研修ができるようになりました。QLD 州は、オーストラリアにおいて 2 番目の面積を有し、日本の国土の 5 倍の広さを持つ、農業と観光が有名な州です。この地域の特産品は、夏野菜（カボチャやパプリカ、トマトなど）やトロピカルフルーツ等があります。輸出を主としてきた QLD 州農業の技術革新や生産から輸出の手法を学ぶことができます。また、南半球での農業の生産サイクルが季節的に日本とは逆である利点を生かした輸出戦略、そして多様な気候帯によって多くの種類の果物や野菜を生産する QLD 州での研修は、国際競争力ある農業者を目指す方へのヒントがたくさんあるはずです。



研修業種・・・露地野菜、マンゴーが中心、その他現地の状況により研修可能な業種

## 研修スケジュール



**帰国**  
(3月中旬)

※ワーキングホリデービザは、それぞれの国に対して1度のみ取得が可能です。



# ヨーロッパ・その他の国々での農業研修

## ヨーロッパ各国

欧州の農業の幅広さ、伝統と歴史は、他の地域と明確な違いがあります。これまでも長年にわたり、デンマーク、ドイツ、スイス、オランダでの長期農業研修プログラムを実施し、たくさんの研修生たちが様々な分野で学んできました。この4か国の研修事業に加えて、より広域に、様々な方の要望に応えられるようプログラムを改良しています。

<代表的な研修スケジュール> ※1年間の場合

渡航  
(3月中旬)

語学研修  
(3月中旬～4月上旬)

農場実習 約半年  
(4月上旬～翌年3月上旬)

最終研修旅行 約1週間  
(3月上旬)

帰国  
(3月上旬)

### デンマーク



面積は九州ほどの小さな国ながら、デンマークはヨーロッパ屈指の畜産大国です。酪農では、放牧酪農を主として、ホルスタイン、ジャージーを育成する酪農家が多く、乳固形分量は世界でもトップであり、チーズに適した高品質の牛乳を生産しています。また、養豚産業は多くの農場が繁殖と肥育の一貫経営で、豚肉の輸出額は世界第3位を誇ります。デンマークでの農業研修は大規模かつ家畜福祉に配慮した畜産を学ぶことができます。

#### ①受入機関

Travel To Farm

#### ②専攻業種

業種	研修期間	備考
酪農	3か月～1年間	大規模酪農
養豚	3か月～1年間	近代的な養豚経営
緑化木	3か月～1年間	樹木等の生産管理
肉牛	3か月～6か月間	繁殖・肥育

#### ③研修期間

3か月～1年 ※研修開始時期は通常3月中

#### ④その他

- 言語：デンマーク語 ※研修中は英語を使います
- 通貨：デンマーククローネ (DKK)  
※1クローネ=およそ17円
- 入国のビザ：インターンまたはワーキングホリデー

### ドイツ



ヨーロッパを代表する農業大国のドイツ。ジャガイモや穀物のイメージが強いですが、鉢物、果樹、酪農、養豚など、実に多彩な農業を行っており、どの分野も国民性や食文化が関連しています。農業形態においても大規模農業に限らず、多品目の野菜を扱う農場や畜産と野菜や穀物の栽培を合わせた複合経営を行う農場など、日本では珍しい取組みを行う興味深い農場が多くある国です。また、酪農および庭園の施工管理などを行う造園業の研修が可能で、使用される資材やドイツ人らしい感性に基づく庭づくり、西洋庭園のスタイル、多種多様な樹木、宿根草を使いながら空間を造っていく過程を学ぶチャンスがあります。

#### ①受入機関

Deutscher Bauernverband e. V. (DBV)

#### ②専攻業種

業種	研修期間	備考
酪農	1年間 ※短い期間も可	大規模酪農
養豚	3か月～6か月間	繁殖・肥育
野菜	3か月～1年間	有機野菜の場合は3か月まで
果樹	3か月～6か月間	主に収穫期の受入となる
花卉	3か月～6か月間	鉢物・切花・植木
造園	1年間 ※短い期間も可	管理作業が中心

#### ③研修期間

3か月～1年 ※研修開始時期は通常3月中

#### ④その他

- 言語：ドイツ語  
※研修中は英語またはドイツ語を使います
- 通貨：ユーロ (EUR) ※1ユーロ=およそ133円
- 入国のビザ：研修生またはワーキングホリデー

## スイス



スイスは観光国としても有名であるため、景観保持のために農業が重要な役割を担っています。農業の主な経営スタイルは畜産（酪農、肉牛、養豚、養鶏）と畑作、野菜や果樹を組み合わせた複合農業です。これにより有機物が農場内で循環する環境保全型農業を可能にしている、環境に配慮した農業経営を行うことができます。また、家族経営の農場が一般的であるため、スイスでの農業研修は家族の一員として生活しながら農業や文化を学んでいきます。

### ①受入機関

Agrimpuls

### ②専攻業種

業種	研修期間	備考
複合（酪農）	1年間	耕畜連携の 家族経営 (環境保全型農業)
複合（養豚）	1年間	//
野菜	1年間	慣行野菜 (統合農法)、 有機野菜

### ③研修期間

1年間 ※研修開始時期は通常3月中

### ④その他

- 言語：ドイツ語、フランス語、イタリア語、ロマンシュ語 ※研修中はドイツ語を使います
- 通貨：スイスフラン（CHF）  
※1スイスフラン=およそ120円
- 入国のビザ：研修生

## その他の国々

本会は、多様な希望に応えられるよう、世界中のパートナー組織と協力しながら研修事業を展開しています。現在まで定期的に研修生を送り出していた既述の国々の他にも、フランス、アイルランド、カナダなどで皆さんの参加を待っている受入農場があります。

### ①受入機関

本会のパートナー組織または団体

### ②専攻業種

応相談

### ③研修期間

3か月～1年間

### ④応募資格

- 概ね18歳～30歳
- 受入先国の条件に従う

### ⑤その他

- 入国のビザ：研修生、ワーキングホリデー他

## オランダ



オランダは面積としては小さな国ながらも、農産物輸出額で世界のトップ3に入る農業大国です。施設栽培の野菜や花卉の農場をほぼ会社化し、近代的設備とシステム化された管理方法と経営を行うことで、数ヘクタールの巨大な温室での栽培を可能にしています。さらに、農薬を使わず、天敵昆虫や装置を使った防除（IPM）を積極的に導入し、効率的に生産しています。その一方で露地栽培においても、アスパラガス、葉物野菜、イチゴなどを大規模に生産する農場や、有機農業を行う農場も多くみられます。また、平坦な土地を生かした放牧中心の効率的な酪農も有名で、ロボット搾乳を導入する農場やチーズ加工を行う農場も多くあるため、オランダでは多様な近代農業を学ぶことができます。

### ①受入機関

Stichting Uitwisseling (SUSP)

### ②専攻業種

業種	研修期間	備考
酪農	1年間 ※短い期間も可	ロボット搾乳、 フリーストール、 チーズ加工
複合	1年間 ※短い期間も可	耕畜連携農業 (有機農業)
野菜	3か月～1年間	施設栽培、 露地栽培
切花	3か月～1年間	施設園芸
鉢物	3か月～1年間	//
緑化木	3か月～1年間	植木等
球根	3か月～ 6か月間	チューリップ等

### ③研修期間

3か月～1年 ※研修開始時期は通常4月中

### ④応募資格

- 19歳～26歳
- 大学農学系学部所属する2年生以上の学生であること  
※渡航時休学ができること
- 専攻業種に関する科目を履修していること

### ⑤その他

- 言語：オランダ語 ※研修中は英語を使います
- 通貨：ユーロ（EUR） ※1ユーロ=およそ133円
- 入国のビザ：研修生

# アプレンティスシップ（国内実習）

## 海外農業研修で「失敗」をしないためにできること

農業についての知識や農作業経験が十分あるかどうかは、海外農業研修に参加する上でとても大切です。

農業のことを良く分かっていないのに海外農業研修に参加して、とても大変な思いをしてしまう、あるいは、受入農家に迷惑をかけてしまうということが度々あります。

農業経験というのは、実際に農家で働いてみることを意味します。それは、田植えをした、野菜を収穫した、牛に餌をあげたという、一つ一つのことでなく、農業を仕事としてやってみるということです。

海外農業研修で一番大変なのは、言葉の壁もさることながら、作業の指示が良く分からないということです。どんなに英語やドイツ語ができて、作業自体を知らなければ全く意味が分かりません。さらに、農作

業は往々にして単純な仕事が多いので、なぜこんなことをしなくてはいけないのかと理不尽に感じることもあります。しかし、農業を仕事として理解できていれば、自分の携わることの意味を感じ、やりがいを見出し、さらには、学びにつなげることができるのです。農作業は要領の良さとも関係があります。より早く、より正確に作業するためには、鍛錬と反復訓練が必要です。そしてそれには時間がかかります。海外農業研修中だけでそれを身に付けようとしても、とても間に合わないことがあります。

だからこそ、日本の農家で農業実習をしておく意味が大きく、本会は渡航前の準備ができるプログラムとして、国内実習プログラム、アプレンティスシップを用意しています。

## コースの特徴

アプレンティスシップとは英語で見習いを意味する言葉です。海外農業研修参加する前に、海外農業研修経験者（OB・OG）の農家で実習（基本的に住込み）を行うプログラムです。

海外農業研修参加を目指す方で農業経験が少ない方へは、アプレンティスシップを強くお勧めしています。

### ①募集期間

2021年4月1日（木）～2022年3月31日（木）

※周年

### ②応募方法

- インターネットで本会ホームページへアクセスし、アプレンティスシップ（国内実習）のページを開いてください。
- ページ下部にあるエントリーボタンをクリックすると申込フォームが開くので、必要事項を入力し送信してください。
- 平日の概ね3～4日以内を目途にご登録いただいた電話番号へ担当から一度連絡をします。その後、ご登録いただいたメールアドレスに申込書式が届きます。届いた書式に必要な事項を記入の上、申込みに必要な書類をそろえて、本会に郵送します。  
※開始希望時期の概ね3か月前までには申込書類を提出する必要があります。
- 書類が届き次第、担当から再度連絡し面接日を決めます。

本会事務所（東京都内）、またはオンラインで一度面接を行い、国内実習の受入れが可能であるかを判断させていただきます。

（遠方にお住まいの方は、ご相談ください。）

- 研修について打ち合わせをし、希望に近い農家が手配でき次第、受入農家と研修生の両方で実習開始日を決定し、実習を開始します。

### ③研修に係る費用

申込金 20,000円 + 研修農場までの交通費

※アメリカ、オーストラリア、その他の国々への研修参加者に特におすすめです。研修コースによっては、大学在学中・卒業後すぐの参加という条件がある場合がありますので、個別にご相談に乗るようにしています。



## ～アプレントイスシップを経て海外農業研修へ～

伊藤英二郎さん 平成 28 年度アメリカコース参加  
野菜専攻 2017 年 3 月～2018 年 10 月研修

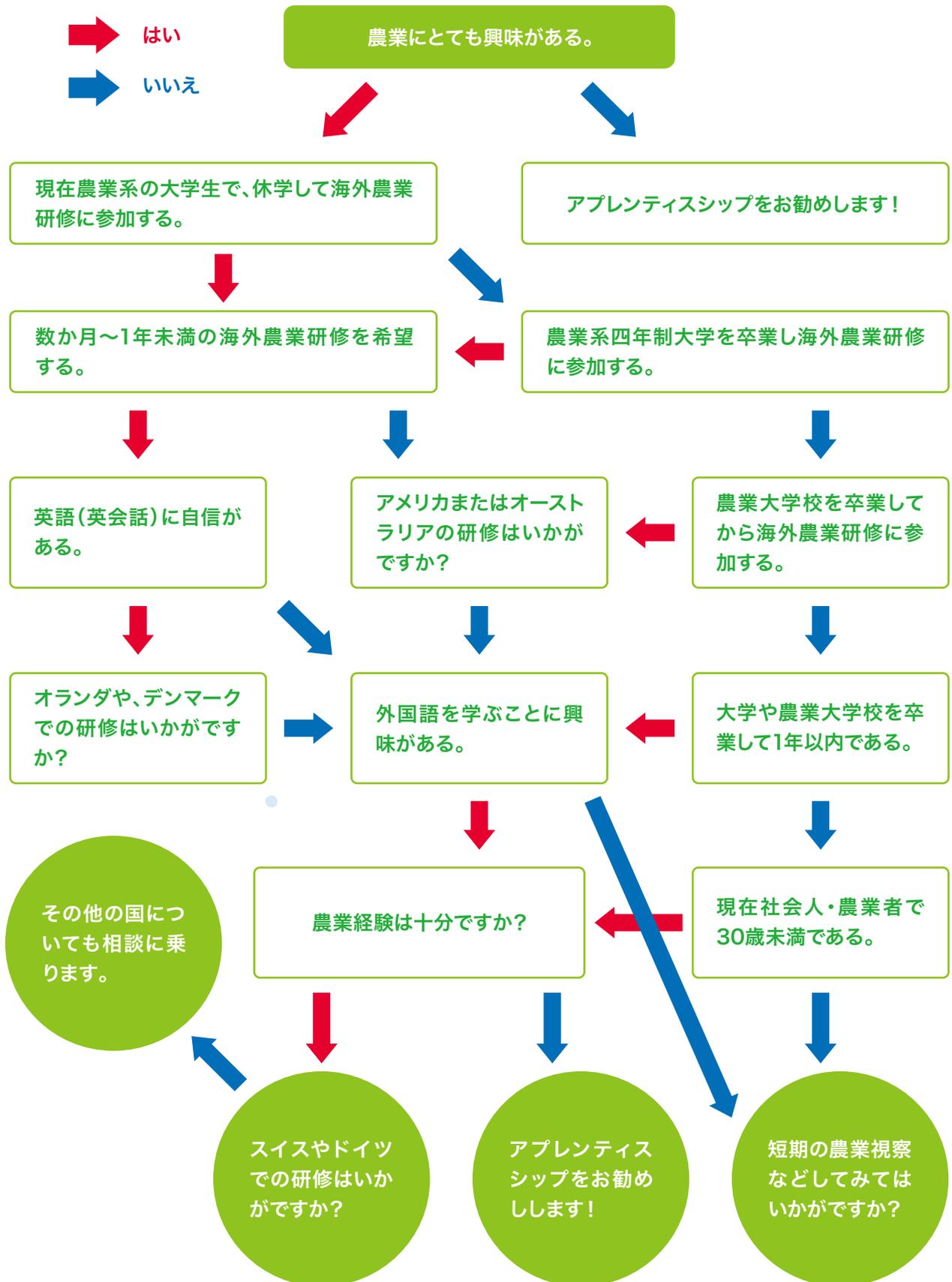
私は小さい頃から農業が好きで祖父と一緒に田畑へ行くことが日常的にあり、将来的にも好きな仕事をしたという考えがありました。高校卒業後は地元企業に就職をしましたが、自分の好きな農業を生涯の仕事にしたいという気持ちが強くなり、専業農家になろうと決意しました。農業をするにあたって地元の農業の仕方だけではなく、他の地域の農業を見ることで多くの知識や考え方を身につけたいと思っていた時に、この海外農業研修に出会いました。以前からアメリカの農業に興味があり、農場実習中は実習手当をいただきながらアメリカの農業や文化を学べることを知り、この研修へ参加することを決めました。研修へ参加するにあたり、私は実家から出たことがなく、農業経験も農繁期の機械作業のみで、このままアメリカへ行ったら大変だと思い、国内研修で自分を鍛えようと決めました。

国内研修では、滋賀県にある米・麦・大豆・ジャガイモ・小松菜・露地野菜の複合農家で 10 か月間、毎日みっちりと身体を張って日本の農業について学ばせていただきました。

た。アメリカでは大規模ジャガイモ農場で研修しました。日本の農業とは全く違う農業で最初は戸惑うことが多くて辛い時もありました。そんな時励みになったのが国内研修での経験です。国内研修でお世話になった農家さんに言われた「最後までやりきれ」の言葉を思い出しながら毎日の農場実習に励みました。メキシカンとの作業も国内研修で鍛えられたのであまり大差もなく一緒に仕事ことができました。また、日本とアメリカのジャガイモの栽培管理方法を比較することができ、将来に役立つことが学べました。アメリカでの研修農場は経営規模もとても大きく、従業員はやりがいを感じて仕事をしているところを肌で感じ、日本の農業にも必要なことだと感じました。この国際農業者交流協会の研修で、日本とアメリカの農業を経験することができ、将来展望を考えることができました。帰国後の今は、実家の農業とは別に農場を作るために日々奮闘しています。



# あなたにぴったりのコースは？



# アグトレ・オンライン

海外農業研修について、さらに詳しく知りたい、体験談や最新情報を知りたいという場合、ソーシャルネットワークサービスをご利用いただくのが便利です！

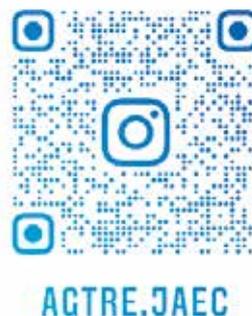


LINEの公式アカウントで友だちになると、アグトレ担当から最新情報などが届きます。また、アグトレ担当がオンラインではないときでも、キーワードに対して自動で海外農業研修に関する回答をするロボットが入っていますので、ぜひご活用ください。



海外農業研修の様子が分かりやすいのは、Instagram！

現地の研修状況や関連する写真や動画がたくさん紹介されています。ちょっとくすっと笑えるネタの投稿なども目指しています！



多数のOB・OGも利用しているため、情報交流が一番盛んです。是非登録してくださいね。



OBへのインタビュー、海外農業研修の動画などは、こちらでチェックできます！



# 令和3年度 農業研修生海外派遣事業 実施要領

公益社団法人 国際農業者交流協会

## 1 事業の目的

公益社団法人 国際農業者交流協会（以下、「協会」という）は、海外農業先進諸国における農業実習や学習を通じて、優れた農業技術、経営管理、販売技術等を修得することで、国際社会に精通した我が国農業・農村を担う人材を育成することを目的に、アメリカ合衆国及びオーストラリア連邦、さらに、ヨーロッパ4か国を始めとする世界各国での海外農業研修を実施する。

## 2 研修コース、研修期間、受入機関及び募集人数

（アメリカ・オーストラリア）

研修コース	研修期間	渡航時期	受入機関	募集人数
アメリカ	約18か月	2022年 3月下旬	ビッグ・ベンド・コミュニティ 大学財団	50名
オーストラリア	約12か月	2022年 3月下旬	クイーンズランド州 ボーエン地区生産者協会	10名

（ヨーロッパ・その他の国々）

研修コース	研修期間	渡航時期	受入機関	募集人数	
ヨーロッパ	デンマーク	3か月～12か月	任意の期日	デンマーク農民連盟	2名
	ドイツ	3か月～12か月	任意の期日	ドイツ農民連盟	3名
	スイス	約12か月	2021年3月	スイス農民連盟	8名
	オランダ	3か月～12か月	任意の期日	オランダ農業交流協会	10名
※その他の国々	3か月～12か月	任意の期日	各国受入機関	若干名	

※カナダ、イギリス、アイルランド、フランス等、研修期間は現地の事情により変更になることがある。

### 3 応募者の資格

- ①日本国籍を持つ独身男女であること。  
 ※日本国籍の他に国籍を持つ者についてはあらかじめ相談すること。
- ②心身共に健全であること。なお、現在治療中の怪我や病気（精神疾患を含む）がある者は、医師の診断書を提出し、それを以って判断する。
- ③明確な研修目的を持っていること。
- ④外国語を学ぶ強い意欲を持っていること。
- ⑤海外農業研修で専攻する業種について、十分な農業経験があること。または、渡航までに十分な農業経験を積むことができること（概ね2か月以上）。
- ⑥渡航までに普通自動車運転免許を持っていること。  
 ※AT限定の者は渡航までに解除しておくこと。
- ⑦犯罪歴がないこと。
- ⑧その他、次に掲げる各国の資格条件に該当する者であること。

研修コース		年齢 (生年月日が以下の期間)	資格条件
アメリカ		1992年4月2日～ 2003年4月1日	高等学校卒業、または同等以上の学力を有し、農業の基礎知識や経験がある者。
オーストラリア		1992年4月2日～ 2003年4月1日	高等学校卒業、または同等以上の学力を有し、農業の基礎知識や経験があり、ワーキングホリデービザの発給条件を満たす者。
ヨーロッパ	デンマーク	19歳～29歳	専攻業種に関する科目を大学等で2年以上履修している在学中で、IELTS(general)のテストでband score 3.0以上である者。さらに、専攻業種の十分な農業経験を有する者。
	ドイツ	19歳～30歳	専攻業種に関する科目を大学等で2年以上履修している在学中、または、*高度農業教育を2年以上受け、卒業後、18か月以内の者。
	スイス	19歳～29歳	専攻業種に関する科目を大学等で2年以上履修している在学中、または、高度農業教育を2年以上受け、卒業後、1年が経過していない者。
	オランダ	19歳～26歳	専攻業種に関する科目を履修し、学士号以上の学位が取得可能な大学の農業教育を2年以上受けている、または、卒業後2年経過していない者で、基礎英会話力がある者。
その他の国々 ※カナダ、フランス、アイルランドなど。		概ね18歳～30歳 要確認	高等学校卒業、または同等以上の学力を有し、農業の基礎知識や経験があり、研修先国で日常会話が可能な語学力を有する者。研修先国のワーキングホリデービザ発給等の要件を満たす者。詳細は要確認。

\*高度農業教育とは、農業大学校、農業専科大学、大学農学部或いはそれに準ずる学部、専門学校等の教育機関における履修のこと。

資格条件は研修先国の事情により変更される場合がある。上記資格条件に当てはまらなくても他の条件が整えば参加できるので、その場合は個別に問い合わせること。

## 4 募集

### ① 募集情報

募集情報は、協会ホームページ (<https://www.jaec.org>)、協会の発行する募集資料、各種 SNS (Facebook・LINE・Instagram) の協会公式アカウントにより告知される。

### ② 期間

- (1) 募集期間は 2021 年 4 月 1 日 (木) ～ 10 月 4 日 (月) とする。
- (2) 申込締切日は 2021 年 10 月 4 日 (月) とし、申込書類はこの日までに協会必着とする。
- (3) プレエントリー (協会ホームページからのオンライン仮申込) 期間は、2021 年 4 月 1 日 (木) ～ 9 月 30 日 (木) とする。
- (4) 現地受入機関との協議により、応募の期間が延長される場合がある。

## 5 応募方法

### (アメリカ・オーストラリア)

都道府県知事、または、協会会長が認める団体の長により推薦を受ける推薦応募と、推薦を受けずに個人が協会に直接応募する一般応募とする。

プレエントリー後、協会から応募者の手許に届く申込書 (様式 1) と健康診断書 (様式 2) を作成し、推薦応募の場合は推薦者が指定する期日までに推薦者宛に、また、一般応募の場合は協会が指定する期日までに協会宛に送付する。

#### (1) 推薦方法

推薦者はこの事業の目的に適合する者を選抜し、(2) の申込書類に所定の推薦書を添えて協会会長に提出するものとする。応募者が推薦を受けるにあたり、各推薦団体 (都道府県、推薦格を持った団体) における応募締切日は別に定められる。なお、推薦者はできる限りプレエントリー期間終了間際に応募者の推薦を取りまとめる。

#### (2) 申込書類

申込書類は、所定の申込書 (様式 1) と健康診断書 (様式 2) とし、推薦団体が推薦書 (様式 3) を作成し、期日までに協会に提出する。

#### (3) 分担金

分担金は 250,000 円とし、研修費の一部に充てる。分担金は、研修生の推薦者の助成によって賄うものとし、助成が得られない場合は、研修生の自己負担とする。

### (ヨーロッパ・その他の国々)

応募者が各自協会に直接申し込む。

(1) プレエントリー後、協会から応募者の手許に届く申込書 (様式 1) と健康診断書 (様式 2) を協会が指定する期日までに協会に送付する (応募)。協会は、電話またはメールにて申込者と面談日時を取り決める。

(2) 協会は、応募者と面談を行い、応募者の資質と各国受入機関が求める資格条件等を確認した上で、応募者が希望する研修内容について受入機関と協議し、研修実施の可否が確認でき次第、応募者に結果を伝える。

(3) 研修の実施が可能となった応募者は、海外農業研修手配依頼書 (様式 4) を協会に提出し、協会は研修の手配を開始する。

(4) 協会は、応募者の研修の手続きが完了した段階で、応募者の出身都道府県及び OB・OG 組織に通知する。

## 6 選考 (アメリカ・オーストラリアコース)

- (1) 選考案内  
10月上旬以降、プレエントリー時に登録のメールアドレスに協会より選考案内を通知する。
- (2) 選考日 2021年10月15日(金)、10月16日(土)  
両日とも都合がつかない場合、前もって協会に相談することで別日に選考を実施する。
- (3) 選考方法  
書類審査及びオンライン(Web会議アプリ Zoom)による面談を実施する。面談内では、初歩的な英会話力と基礎体力の確認を行う。
- (4) 選考費  
応募方法により次のとおり定め、選考日3日前までに協会指定口座に振込む。  
推薦応募者 5,000円  
一般応募者 8,000円  
振込先  
公益社団法人 国際農業者交流協会  
みずほ銀行蒲田支店 普通預金 3151510
- (5) 合否通知  
2021年10月29日(金)までに書面にて、応募者、及び推薦者に郵送で通知する。

## 7 国内における研修

海外農業研修に対する諸準備のため、研修コースごとに次に掲げる国内講習を実施する。選考合格者及び受入決定者は、次のオンラインセミナー、講習、オリエンテーションに必ず参加しなければならない。

- (1) オンラインセミナー (全コース対象)  
2021年11月上旬に4日間、Web会議アプリ Zoomにより次の内容を実施する。  
・プログラムの理解  
・渡航手続きの説明、現地研修農場配属手続き、その他書類作成  
・現地事情、現地研修事情等についての説明
- (2) 講習 (アメリカ・オーストラリアコース対象)

研修コース	事前講習	出発時講習
アメリカ	【東日本】 2021年11月中旬開始予定(7日間) 会場は茨城県内を予定 【西日本】 2021年11月中旬開始予定(7日間) 会場は大分県内を予定	2022年3月下旬の3日間を予定 会場は東京都内を予定
オーストラリア	2021年11月中旬開始予定(7日間) 会場は茨城県内を予定	2022年3月下旬の3日間を予定 会場は東京都内を予定

講習の内容は、概ね次のとおりとする。

- ① 事前講習
- ・参加に当たっての心構え等
  - ・日本農業実情把握、農業経営シミュレーション等
  - ・現地語学の学習
  - ・体力トレーニング
  - ・農業実習
  - ・待機期間中の心構え

- ② 出発時講習
  - ・ 出発時の各種手続き
  - ・ 壮行会
- ③ 事前講習終了後から出発時講習開始までの待機期間中の指導
  - ・ 渡航意欲の維持、向上
  - ・ 語学力、農業力（作業能力、知識）の向上

(3) オリエンテーション（ヨーロッパ・その他の国々のコース対象）

研修コース	オリエンテーション
ヨーロッパ・その他の国々	2021年11月上旬（3泊4日） 会場は東京都内を予定

オリエンテーションの内容は、概ね次のとおりとする。

- ① オリエンテーション
  - ・ 語学学習
  - ・ 研修生の心構え
  - ・ 待機期間中の心構え
- ② オリエンテーション終了後から渡航までの待機期間中の指導
  - ・ 渡航意欲の維持、向上
  - ・ 語学力、農業力（作業能力、知識）の向上

## 8 海外における研修

各研修コースにおける研修計画は、次のとおりとする。なお、学習のために利用する大学の都合、或いは、農場実習を行う研修農場の都合（季節的繁閑）によって、それぞれの実施時期が若干変わる場合がある。

(1) アメリカ

① 研修計画

研修区分（期間）	実施時期	研修内容
基礎学習 （約2か月）	2022年3月下旬～ 5月下旬	ビッグ・バンド・コミュニティ大学（ワシントン州）における英語・スペイン語の語学学習、米国社会・農業概要の学習及び視察研修等（大学の寮に滞在）
農場実習 （約13か月）	2022年5月下旬～ 2023年7月上旬	専攻業種に応じ、アメリカ合衆国内の農場における実習
専門学習 （約2か月）	2023年7月上旬～ 8月下旬	農学部を有する州立大学における農業経営、農産物市場・流通等の学習、視察研修等（大学周辺の一般家庭にホームステイ）
最終研修旅行 修了式 （約2週間）	2023年8月下旬～ 9月中旬	研修生各自の自由計画による研修旅行及び修了式

② 専攻業種

上記研修計画のうち農場実習は、次の業種により配属する。

- ・ 酪農
- ・ 肉牛（繁殖、肥育）
- ・ 養豚
- ・ 養鶏
- ・ 野菜（種苗、有機栽培を含む）
- ・ 花卉（葉物、枝物、鉢花、花壇苗、観葉植物を含む）
- ・ 造園
- ・ 果樹（落葉果樹、コーヒー、柑橘）

その他現地の状況により研修可能な業種

③ 実習手当

研修生は農場実習中、研修農場より一定額の手当を受け取る。

その一部は、現地研修費に充てられる。

(2) オーストラリア

① 研修計画

研修区分（期間）	実施時期	研修内容
基礎学習 （約 1 か月）	2022 年 3 月下旬～ 4 月下旬	オーストラリアでの農業研修に必要な語学学習及びオーストラリア農業の基礎を学ぶ
農場実習 （約 10 か月）	2022 年 4 月下旬～ 2023 年 3 月上旬	専攻業種に応じ、クイーンズランド州ボーエン地域の農場における実習
最終研修旅行 （約 1 週間）	2023 年 3 月上旬～ 3 月中旬	研修生各自の自由計画による研修旅行

② 業種

上記研修計画のうち農場実習は、次の業種により配属する。

園芸（露地野菜、マンゴーが中心）

その他現地の状況により研修可能な業種

繁忙により、異なる業種での農場移動がある。

③ 実習手当

研修生は農場実習中、研修農場より一定額の手当を受け取る。その一部は、現地研修費に充てられる。

(3) ヨーロッパ・その他の国々

各研修コースにおける研修プランは、応募者の希望により異なるが、一例として、1 年間の研修の内容を記す。

① 研修計画（研修期間 1 年の場合の一例）

研修区分（期間）	実施時期	研修内容	
現地到着時研修 （約 3 週間）	2022 年 3 月中旬 ※任意で可能な日	各研修先国における現地オリエンテーション及び語学学習	
農場実習 （約 11 か月）	2022 年 4 月上旬～ 2023 年 3 月上旬	専攻業種に応じた農場における実習	
農場実習期間中の行事	セミナー （数回）	2022 年 6 月～ 2023 年 1 月	各国ごとに、農業視察、講義、他国研修生との交流会等を通して現地農業の理解を深め、農業青年同士の相互理解をはかる
	夏季自主 研修旅行 （約 1 週間）	2022 年 7 月～ 9 月	研修生各自の自由計画による研修旅行
	最終研修 旅行 （約 1 週間）	2023 年 3 月上旬	研修生各自の自由計画による研修旅行

## ② 専攻業種

研修先国別の実習可能な専攻業種は次のとおりとし、研修先国の受入機関が選定する研修農場での農業実習を行う。

研修コース	期間	専攻業種
デンマーク	1年	酪農、養豚、緑化木
	3か月～6か月	肉牛、酪農、養豚、緑化木
ドイツ	1年	酪農、造園
	3か月～6か月	養豚、花卉、果樹（ワイン含む）、酪農、造園
	3か月～1年	野菜、酪農、造園
スイス	1年	複合（耕畜連携経営）、野菜
オランダ	1年	酪農（チーズ加工を含む）、複合（耕畜連携経営）
	3か月～1年	酪農（チーズ加工を含む）、複合（耕畜連携経営）、野菜（露地・施設）、花卉（切花、鉢物、緑化木、球根）
その他の国々	3か月～1年	要問い合わせ

## ③ 実習手当

研修生は農場実習中、研修農場より一定額の手当を受け取る。

## 9 研修経費

研修参加に必要な各費用については以下のとおりとする。

### (1) 研修参加申込金

金額 300,000円

納付期限 アメリカ・オーストラリア 2021年11月12日（金）

ヨーロッパ・その他の国々 研修手配依頼書の提出から2週間以内

※ 研修参加申込金は、返金しない。

※ 協会に何の連絡もなく期限までに研修参加申込金の納入が確認されない場合、アメリカ・オーストラリアコースでは、合格を取り消し、渡航を中止し、ヨーロッパ・その他の国々のコースでは、研修手配を取りやめる。

(2) 研修費

研修費の金額と用途、納入期限は下表に定めたとおりとする。

研修区分（期間）	金額	用途	納入期限
アメリカ	980,000 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内講習参加費</li> <li>・渡航前経費（査証申請等）</li> <li>・往復航空券代</li> <li>・帰国時研修経費</li> <li>・帰国者活動費</li> <li>・団体保険料</li> <li>・事務管理費</li> </ul>	2022年 1月31日（月）
	研修費に含まれない費用 ・基礎学習費 ・専門学習費 ・現地移動交通費（一部） ・現地受入機関管理費 ・帰国時経費 ・海外旅行保険料（留学生保険）※必須 約 200,000 円 ・渡航・帰郷時交通費 ・渡航時の小遣い 約 50,000 円		
オーストラリア	1,180,000 円 現地積立金で一部を 負担する場合 680,000 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内講習参加費</li> <li>・往復航空券代</li> <li>・現地研修費（基礎学習等）</li> <li>・帰国時研修経費</li> <li>・帰国者活動費</li> <li>・団体保険料</li> </ul>	2022年 1月31日（月）
	研修費に含まれない費用 ・ワーキングホリデービザ申請料 約 40,000 円 ・海外旅行保険料※必須 約 200,000 円 ・渡航・帰郷時交通費 ・農場実習開始までの生活費・小遣い 約 200,000 円		
ヨーロッパ・ その他の国々	～ 850,000 円 ※コース、 期間により変動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地研修経費 ※滞在許可代、語学学習、サポート経費、移動交通費（一部）、受入機関管理費</li> <li>・帰国者活動費</li> <li>・団体保険料</li> <li>・事務管理費</li> </ul>	研修受入決定後に発行される請求書にて定められた期日
	研修費に含まれない費用 ・オリエンテーション費用 約 20,000 円 ・海外旅行保険料※任意 ・往復航空券代 約 200,000 円 ・渡航・帰郷時交通費 ・渡航時の小遣い 約 50,000 円		

《研修経費の納付先》

公益社団法人 国際農業者交流協会

みずほ銀行蒲田支店 普通預金 3151510

(3) 海外旅行保険料

(アメリカ・オーストラリア)

研修中の怪我や病気の治療、また、死亡、後遺障害、その他損害賠償等の補償のために、協会が提示する一定の補償額の海外旅行保険（または留学生保険）に必ず加入する。

(ヨーロッパ・その他の国々)

研修中の怪我や病気の治療、また、死亡、後遺障害、その他損害賠償等の補償のために、協会が提示する一定の補償額の海外旅行保険に必ず加入することとなるが、研修先国の健康保険等の適用が受けられる場合、海外旅行保険には任意で加入することとする。

10 辞退、延期、受入取消

研修区分（期間）	アメリカ・オーストラリア	ヨーロッパ・その他の国々
辞退	合格後、研修を辞退する場合、協会に辞退届を提出する。	海外農業研修手配依頼書（様式 4）提出後、研修を辞退する場合、協会に辞退届を提出する。
延期	合格後、研修生の健康状態、海外農業研修に対する準備不足（語学力、作業能力等）が認められる場合、渡航を次年度以降に延期することがある。その際には、速やかに所定の延期手続きを行う。	研修生の健康状態、海外農業研修に対する準備不足（語学力、作業能力等）が認められる場合、渡航時期を延期することがある。
取消	<p>【合格取消】合格後、渡航までの間に、研修生として不適格と認められる事実が判明した場合、協会は合格を取り消すことがある。</p> <p>(例)</p> <p>ア. 定められた経費の支払いを無断で定められた期限までに納入しない場合。</p> <p>イ. 延期に伴い発生する精算を、無断で定められた期限までに行わない場合。</p> <p>ウ. 渡航に向けて行うべきビザ等書類作成を怠った場合。</p>	<p>【受入取消】渡航までの間に、研修生として不適と認められる事実が判明した場合、協会は研修受入を取りやめることがある。</p> <p>(例)</p> <p>ア. 定められた経費の支払いを無断で定められた期限までに納入しない場合。</p> <p>イ. 延期に伴い発生する精算を、無断で定められた期限までに行わない場合</p> <p>ウ. 渡航に向けて行うべきビザ等書類作成を怠った場合。</p>
費用の精算	<p>ア. 上記、辞退、延期、取消の場合、それまでの手続きにかかった経費を精算する。ただし、研修参加申込金は原則返金しない。</p> <p>イ. 研修費納入後は、それまでの手続きにかかった経費を精算し、残金を返金する。なお、渡航日の 1 週間前から渡航日まで研修を辞退した場合、研修費の全額を返金しない。</p> <p>ウ. 延期の場合、研修参加申込金は翌年度分に充当される。不測の事態による渡航の延期・中止の際には、妥当な範囲で経費の精算を行う。</p>	

## 11 各種支援制度の利用

### (1) 農業人材力強化総合支援事業、その他の助成事業

農林水産省の農業教育高度化事業は、都道府県が窓口となって、海外農業研修を修了して帰国後に就農する意欲がある者を対象に、研修に要する費用の一部を助成する制度であり活用を勧める。活用を希望する場合は、就農を希望する都道府県の農業担当部局に相談すること。

この他、農業次世代人材投資事業や、都道府県、並びに市町村等の海外留学・研修助成金制度等を活用できる場合があるので事前に確認することを勧める。なお、農業次世代人材投資事業の利用者に対し、協会が書類作成等特別な便宜を行う場合、そのことに要する事務手数料を別途申し受けることとする。

なお、農業教育高度化事業と農業次世代人材投資事業の重複申請はできない。

### (2) 奨学金制度

協会の海外農業研修に参加する者で一定の資格条件を満たす場合は、協会が実施する奨学金制度を利用することができる。

#### 《バイエル スカラーシップ》

バイエルの出資による、海外農業研修生を支援するための奨学金制度。所定の書類を提出し、選考委員会で選出された者は、奨学金の給付を受けることができる。

給付額 200,000 円 / 人 給付人数 各年 5 名以内

#### 《研修生サポート資金》

協会が海外農業研修参加者を資金的にサポートする制度で、1 人当たり 500,000 円まで無利子で利用することができる。

## 12 現地における指導

研修先国での研修を円滑に実施するため、協会と現地受入機関が共に研修生の指導にあたる。

## 13 中途帰国

以下における研修生の研修期間満了前の帰国は中途帰国とし、協会は中途帰国した研修生について速やかに推薦者に通知する。

また、中途帰国によって生じた経費は、原則として研修生の負担とする。

(1) 協会及び現地受入機関が、研修生の研修継続が不可能、或いは不相当と認めた場合。

(2) 研修生が何らかの理由により中途帰国を申し出て、協会及び現地受入機関がこれを認めた場合。

## 14 研修修了

所定の研修を終えて帰国し、協会への報告を完了した時点で研修修了とする。

## 15 研修報告書の提出

研修生は協会に対し別に定める報告書を提出する。

## 16 帰国後の活動

研修生は、研修生 OB・OG 組織の一員として地域の農業振興のため、協会及び同組織が実施する諸事業に参加し、目的達成に協力する。

## 17 その他

不測の事態が発生した場合、事業内容または経費の変更が生ずることがある。

# 令和3年度 アプレントィスシップ 実施要領

公益社団法人 国際農業者交流協会

## 1 事業の目的

英語で見習いを意味する Apprenticeship から名付けられたもので、海外農業研修に参加する目的で国際化対応を意識した国内先進農家での農業実習を通じて、優れた農業技術、経営管理、販売技術等の修得を目指し農業実習を行う。

## 2 募集

(1) 募集期間  
周年

(2) 募集人数  
年間 15 名程度

## 3 応募資格と申込

(1) 応募資格条件

- ・ 概ね 18 歳から 30 歳までの日本国籍を持つ独身男女
- ・ 農業に興味を持ち精力的に農作業に打ち込み、研修受入農家及び協会の指導を真摯に受け止め、農作業力、経営力の向上に努める者
- ・ アプレントィスシップを終了した後、海外農業研修に参加する意欲のある者

(2) 申込方法及び審査

- ・ 協会ホームページにおいてインターネット申込を行い、その後、メール添付で送られてくる申込用紙（申込書、健康診断書）に必要事項を記入し協会に郵送する。
- ・ 協会において書類審査並びに電話或いは直接の面談等により研修引き受けの可否を決定する。

## 4 プログラム内容

(1) 研修期間

3 か月から概ね 1 年までの任意の期間とする。

(2) 専攻業種

研修生の意向と面談結果により、最適と考えられる業種の農家に配属する。  
なお、その際は以下のような業種が対象となる。  
酪農、肉牛（繁殖、肥育）、養豚、養鶏、野菜、花

卉（葉物、枝物、鉢花、花壇苗、観葉植物を含む）、造園、果樹  
その他農業に関わる業種

(3) 研修先の選定

研修農家の選定及び研修条件の交渉は、協会が行うものとするが、その他、研修生が自身の希望により特定の農家での研修を望み、該当農家の了承が得られている場合は、これを認めるものとする。但し、その農家での研修を保証するものではない。

(4) アプレントィスシップの開始

協会は、研修生が希望する研修開始時期に合わせて研修の開始日を研修受入農家と調整する。なお、研修生は、研修開始希望時期の概ね 3 か月前までに申込書類を提出すること。

(5) 農業実習中の指導

農家実習における研修生の待遇については、農家実習契約書に定める。  
研修生は、毎月協会に対して所定の報告書を提出し、それによって協会は適宜研修生に指導（電話、メールなど）を行う。

(6) アプレントィスシップの終了

当初予定した研修期間が満了した時点でアプレントィスシップは終了となる。研修生及び受入農家の双方が同意した場合に限り、実習の期間を短縮または延長することができる。

(7) 海外農業研修選考会免除

研修生が海外農業研修選考会までの期間にアプレントィスシップを 3 か月以上実施し、一定の条件を満たした場合、海外農業研修の選考が免除される。

## 5 申込金

研修生は、プログラムの開始に際し申込金として 20,000 円を協会に支払う。なお、納入後の返金はしない。

申込金納付先：公益社団法人 国際農業者交流協会

みずほ銀行蒲田支店 普通預金 3151510

納付期限：農業実習開始前まで

# 帰国後について

海外農業研修に参加された方は、さまざまな分野で活躍されています。異国での経験がその後の人生にどのように生かされるか、海外での新しい出会いがどのような発展を見せるかは人それぞれです。海外農業研修に参加されたことが人生のターニングポイントとなり、将来の自分への先行投資となっていることを実感されています。

また、多くの団体・企業・教育機関が海外農業研修の趣旨に賛同しご協賛をいただいています。若い時に海外で研鑽を重ねた青年が大変貴重な存在であること、そのような経験を持つ海外農業研修経験者を登用したいという声が数多く届いています。

## ◆無料職業紹介所◆

本会では、農業関連分野を中心とした就職支援のため無料職業紹介所を設置しています。  
海外農業研修を経験された方は以下のような分野で活躍されています。

研修生の帰国後の進路	
農業関連	農業（後継・新規就農）、農業法人、農業団体、農業教育機関、公務員、大学教授、教員、農協、企業（貿易関係、環境調査関係、生物化学、種苗、乳製品加工、農業福祉）など
農業外	国際協力機関、公務員（都道府県職員等）、大学教授、教員、福祉、保育、食品加工業、食品販売業、飲食店、営業、機械業、卸売業、出版、カメラマンなど
その他	青年海外協力隊、留学、海外研修、地域おこし協力隊、代議士など

## 《近年の研修生が就職した企業・組織・農場》

研修生の帰国後の進路
JA 全農（全国農業協同組合連合会）、JA 全中（全国農業協同組合中央会）、バイエル クロップサイエンス株式会社、ヤンマーアグリジャパン株式会社、株式会社モンベル、全国酪農業協同組合連合会、ホクレン農業協同組合連合会、株式会社マイファーム、株式会社日本情報化農業研究所、株式会社Life Lab、日本政策金融公庫、タマノイ酢株式会社、株式会社ハクサン、株式会社伊藤園、イオンアグリ創造株式会社、株式会社白糠酪恵舎、三井物産アグロビジネス株式会社、渡辺パイプ株式会社、千葉大学環境健康フィールド科学センター、雪印種苗株式会社、株式会社サカタのタネ、独立行政法人農畜産業振興機構、特定非営利活動法人日本オーガニック&ナチュラルフーズ協会、シンジェンタ・ジャパン株式会社、万田酵素株式会社、株式会社アシストシステム研究所、パイオニアエコサイエンス株式会社、ヒゲタ醤油株式会社、株式会社アグリメディア、株式会社善祥園、株式会社アースサイド 他

## 《海外農業研修を終えた人材を求める企業》

企業名	所在	業種
株式会社野菜くらぶ	群馬県利根郡昭和村	野菜
株式会社サラダボウル	山梨県中央市	野菜
株式会社ファームシップ	東京都中央区	野菜
曾我の屋農興株式会社	栃木県那須郡那須町	養豚
有限会社広野牧場	香川県木田郡三木町	酪農
株式会社近藤農園	香川県善通寺市	野菜
株式会社さかうえ	鹿児島県志布志市	野菜
株式会社ワタリ	東京都府中市	青果専門商社

※他にもたくさんの企業・農業法人から求人をいただいています。

## 青年海外協力隊隊員への希望者を推薦します！

海外農業研修から帰国後、研修経験を生かし青年海外協力隊隊員となり再び海外の現場で活躍される方もいます。JICA 青年海外協力隊事務局との覚書により、研修業種と青年海外協力隊職種が一致している海外農業研修修了者を本会から青年海外協力隊へ推薦することができます。推薦に際しては、本会の審査がありますが、推薦された場合は、青年海外協力隊の一次選考技術審査が免除されます。なお、本会からの推薦は研修修了日から5年以内、又は研修修了後に関連分野での業務に従事した人に限られます。

## 帰国後に仲間と繋がろう！【国際農友会】

海外農業研修から帰国された方は、世界各地で活躍をされています。そんな方々を繋ぐ役割を果たしているのが、研修生同窓全国組織の国際農友会です。

国際農友会は、海外農業研修で育まれた研修生同士の交流の横糸を、世代を超える縦糸に織り込んでいくことで、帰国された方同士の絆を深め、幅広い活動を展開していくことを目的に設立されました。国際農友会では、海外農業研修を目指す青年をバックアップするために、研修生サポート資金の運営、海外農業研修の啓発活動を行っています。海外農業研修を経験された方はユニークで、バイタリティーにあふれています。農業を通じたふれあい、海外での苦楽を理解できる者同士、一生の大切な仲間となっています。

## 国際農友会の活動例

### ○国際化対応営農研究会

全国を5つのブロックに分けて行われる勉強会(セミナー)です。

年に一度、優良な経営や栽培技術などの事例発表、世代や業種を超えた農業者同士の交流を目的に開催されています。令和3年度は、岩手県、長野県、奈良県、鳥取県、大分県で開催を予定しています。詳しくは本会ホームページに紹介されます。

### ○研修生壮行会および帰国歓迎会

各都道府県にある研修生同窓会組織を中心に、出発前の研修生の壮行会や帰国した研修生の歓迎会を開催しています。海外農業研修に参加された先輩から出発前に研修成功のアドバイスや当時の経験談を聞けるだけでなく、帰国後同じ地域をけん引していく農業者としての繋がりを構築することができるまたとない機会です。



ここでの絆は一生もの



帰国後はOB・OG 同士で広く繋がれる

# 活用しよう、色々なサポート

## 農業教育高度化事業

海外農業研修を終えた後に就農することを宣言した研修生に対して研修経費の半額を最大 60 万円まで支援する制度です。各都道府県の担当窓口を通じて申請を行います。

## 酪農乳業産業基盤強化特別対策事業 (J-Milk)

将来酪農生産等で就農する研修生に対して、最大 120 万円を助成する制度です。本会を通じて申請を行います。

## バイエル スカラーシップ

所定の審査により選出された研修生たちに対して、年度内 5 名まで、一人当たり 20 万円の奨学金制度です。11 月に行われる事前講習とオリエンテーションにて案内されます。

## 農業次世代人材投資事業 監督官庁：農林水産省

次世代を担う農業者を目指す方に対し、就農の検討・準備段階から就農開始を経て経営を確立するまでの一連の流れを総合的に支援する事業です。準備型と経営開始型に分かれ、海外農業研修は準備型の対象となっています。

■対象者：海外農業研修修了後に就農する方※オーストラリアコースは対象外となります

■交付額：アメリカコース参加の場合 225 万円まで

ヨーロッパコース参加の場合、研修期間が 1 年の方に限り 150 万円まで

■交付条件：海外農業研修修了後 1 年以内に就農すること

他にも条件がいくつかあり達成できない場合は返還となる

ヨーロッパコースの場合は研修期間が 1 年の方に限られる

■相談窓口：就農を予定している都道府県、または全国農業会議所

詳しくは農林水産省のホームページをご確認ください。

## 申請スケジュールの例 ※ 1 年間の場合



## トビタテ！留学 JAPAN 監督官庁：文部科学省

官民協働のもと社会総掛かりで取り組む「留学促進キャンペーン」です。

対象者：休学して海外農業研修へ参加される方

交付額：審査認定された留学計画に従い交付額が決定

相談窓口：在籍大学の学生課等

詳しくは、トビタテ！留学 JAPAN のホームページをご確認ください。

本会が上記のような公的資金利用者に対し特別な便宜を図る場合、別途事務手数料を申し受けます。

### 海外農業研修にかかる費用の仕組み

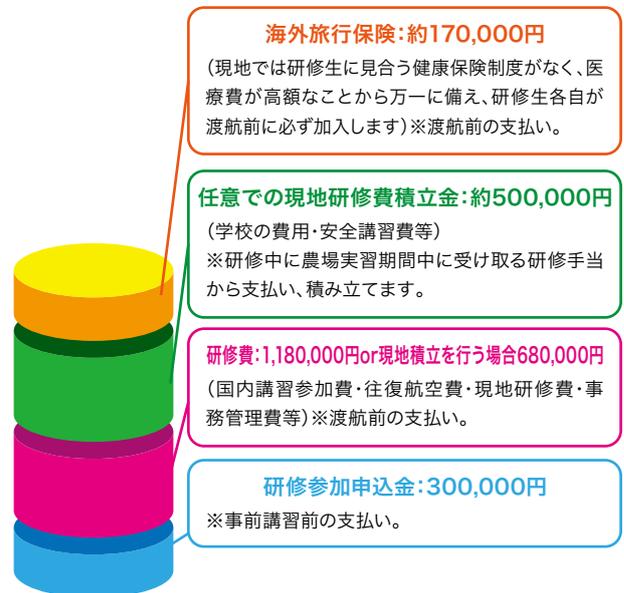
『とても充実した研修ということはわかる！けれどやっぱり費用が高い…』といった相談を受けることがあります。それでは、海外農業研修にかかる費用は、どのようなものなのでしょうか？

#### アメリカ研修 トータル:約3,000,000円



渡航前の支払い金額  
約1,500,000円

#### オーストラリア研修 トータル:約1,650,000円



渡航前の支払い金額  
約1,650,000円 or 積み立てをする場合1,150,000円



# 海外農業研修お問い合わせ先 (2021年5月現在)

実施団体

公益社団法人 国際農業者交流協会 The Japan Agricultural Exchange Council

ホームページ: <https://www.jaec.org/>

〒144-0051 東京都大田区西蒲田 5-27-14 日研アラインビル 8階

TEL: 03-5703-0252 FAX: 03-5703-0255 E-MAIL: [agtre@jaec.org](mailto:agtre@jaec.org)



## 都道府県・推薦教育機関

No.	都道府県	担当課	郵便番号	住所	電話番号
1	北海道	公益財団法人北海道農業公社担い手支援部 就農研修課	060-0005	札幌市中央区北五条西 6-1-23 北海道通信ビル 6F	011-271-2255
2	青森県	青森県農林水産部構造政策課	030-8570	青森市長島 1-1-1	017-734-9463
3	岩手県	岩手県農林水産部農業普及技術課	020-8570	盛岡市内丸 10-1	019-629-5656
4	宮城県	宮城県農林水産部農業振興課	980-8570	仙台市青葉区本町 3-8-1	022-211-2836
5	秋田県	秋田県農林水産部農業研修センター	010-1231	秋田市雄和相川源八沢 34-1	018-881-3611
6	山形県	山形県農林水産部農業経営・担い手支援課	990-8570	山形市松波 2-8-1	023-630-3088
7	福島県	福島県農林水産部農業支援総室農業担い手課	960-8670	福島市杉妻町 2-16 (西庁舎 5階)	024-521-7340
8	茨城県	茨城県農林水産部農業技術課	310-8555	水戸市笠原町 978-6	029-301-3931
9	栃木県	栃木県農政部経営技術課	320-8501	宇都宮市埴田 1-1-20	028-623-2317
10	群馬県	群馬県農政部農業構造政策課	371-8570	前橋市大手町 1-1-1	027-226-3064
11	埼玉県	埼玉県農林部農業支援課新規参入支援担当	330-9301	さいたま市浦和区高砂 3-15-1	048-830-4051
12	千葉県	千葉県農林水産部担い手支援課	260-8667	千葉市中央区市場町 1-1	043-223-2820
13	東京都	東京都産業労働局農林水産部農業振興課普及担当	163-8001	新宿区西新宿 2-8-1	03-5320-4835
14	神奈川県	神奈川県農業技術センター企画経営部	259-1204	平塚市上吉沢 1617	0463-58-0333
15	新潟県	新潟県農林水産部経営普及課	950-8570	新潟市中央区新光町 4-1	025-280-5300
16	山梨県	山梨県農政部農業技術課	400-8570	甲府市丸の内 1-6-1	055-223-1619
17	長野県	長野県農政部農村振興課 担い手育成係	380-8570	長野市南長野字福下 692-2	026-235-7243
18	静岡県	静岡県経済産業部農業局農業戦略課農業戦略班	420-0853	静岡市葵区追手町 9-6	054-221-3611
19	富山県	富山県農林水産部農業経営課	930-8501	富山市新総曲輪 1-7	076-444-3266
20	石川県	石川県農林水産部農業政策課農業参入・経営戦略推進室	920-8580	金沢市鞍月 1丁目 1番地	076-225-1613
21	福井県	福井県農林水産部園芸振興課農業人材グループ	910-8580	福井市大手 3-17-1 8階	0776-20-0433
22	岐阜県	岐阜県農政部農業経営課	500-8570	岐阜市藪田南 2-1-1	058-239-3134
23	愛知県	愛知県農業水産局農政部農業経営課普及企画グループ	460-8501	名古屋市中区三の丸 3-1-2	052-954-6412
24	三重県	三重県農林水産部担い手支援課	514-8570	津市広明町 13	059-224-2354
25	滋賀県	滋賀県農政水産部農業経営課地域農業戦略室	520-8577	大津市京町 4-1-1	077-528-3845
26	京都府	京都府農林水産部農産課	602-8570	京都市上京区下立売通新田西入敷ノ内町 85-3	075-414-4961
27	大阪府	大阪府環境農林水産部農政推進課	559-8555	大阪市住之江区南港北 1-14-16 咲洲庁舎 22階	06-6210-9589
28	兵庫県	兵庫県農政環境部農政企画局農業経営課	650-8567	神戸市中央区下山手通 5-10-1	078-362-9194
29	奈良県	奈良県食と農の振興部農業水産振興課	630-8501	奈良市登大路町 30	0742-27-7442
30	和歌山県	和歌山県農林水産部農業生産局経営支援課	640-8585	和歌山市小松原通 1-1	073-441-2881
31	鳥取県	鳥取県農林水産部農業振興戦略監とっとり農業戦略課 研究・普及推進室	680-8570	鳥取市東町 1-220	0857-26-7389
32	島根県	島根県農林水産部農業経営課 担い手確保グループ	690-8501	松江市殿町 1	0852-22-5395
33	岡山県	岡山県農林水産部農産課担い手育成班	700-8570	岡山市北区山下 2-4-6	086-226-7420
34	広島県	広島県農林水産部農業技術課経営技術グループ	730-8511	広島市中区基町 10-52	082-513-3559
35	山口県	山口県農林水産部農業振興課農業技術班	753-8501	山口市滝町 1-1	083-933-3366
36	徳島県	徳島県立農林水産総合技術支援センター経営推進課 担い手支援担当	770-8570	徳島市万代町 1-1	088-621-2427
37	香川県	香川県農政水産部農業経営課担い手・集落営農グループ	760-8570	高松市番町 4-1-10	087-832-3406
38	愛媛県	愛媛県農林水産部農政企画局農政課農地・担い手対策室	790-8570	松山市一番町 4-4-2	089-912-2553
39	高知県	高知県農業振興部農地・担い手対策課	780-8570	高知市丸ノ内 1-7-52	088-821-4512
40	福岡県	福岡県農林水産部経営技術支援課後継人材育成室	812-8577	福岡市博多区東公園 7-7	092-643-3495
41	佐賀県	佐賀県農林水産部農産課	840-8570	佐賀市城内 1-1-59	0952-25-7118
42	長崎県	長崎県農林部農業経営課 就農支援班	850-8570	長崎市江戸町 2-13	095-895-2935
43	熊本県	熊本県農林水産部生産経営局農地・担い手支援課	862-8570	熊本市中央区水前寺 6-18-1	096-333-2432
44	大分県	大分県農林水産部新規就業・経営体支援課	870-8501	大分市大手町 3-1-1	097-506-3598
45	宮崎県	宮崎県農政水産部農業経営支援課農業金融担当	880-8501	宮崎市橋通東 2-10-1	0985-26-7131
46	鹿児島県	鹿児島県農政部経営技術課	890-8577	鹿児島市鴨池新町 10-1	099-286-3160
47	沖縄県	沖縄県農林水産部農業支援課	900-8570	那覇市泉崎 1-2-2	098-866-2280
48	推薦団体	北里大学 獣医学部 学生課	034-0021	青森県十和田市東 23番町 35-1	0176-23-4371
49	推薦団体	東京農業大学 グローバル連携センター	156-8502	東京都世田谷区桜丘 1-1-1	03-5477-2560
50	推薦団体	東京農業大学 生物産業学部 学生教務課	099-2422	北海道網走市八坂 196	0152-48-3813
51	推薦団体	東京農業大学 農学部 学生教務課	243-0034	神奈川県厚木市船子 1737	046-270-6225
52	推薦団体	酪農学園大学 社会連携センター	069-8501	北海道江別市文京台緑町 582番地	011-388-4132
53	推薦団体	拓殖大学北海道短期大学	074-8585	北海道深川市ムム 4558	0164-23-4111
54	推薦団体	帯広畜産大学 入試・教務課 教務係	080-0835	北海道帯広市稲田町西 2線 11番地	0155-49-5411
55	推薦団体	日本農業経営大学校	108-0075	東京都港区港南 2丁目 10番 13号 農林中央金庫品川研修センター 5階	03-5781-3750
56	推薦団体	ハッペ中央農業実践大学校	391-0112	長野県諏訪郡原村 17217-118	0266-74-2111



*You can do it*